

啓伸塾便り

むつき
1月号(睦月)
January

基礎学力を重視する学習塾
啓伸塾
ただ今、冬の
新入塾生募集中

今年も大きな一歩を全力で取り組むのがいい！
「11月の11日」一生懸命取り組んでください。

これは、青田「ED」の開発でノーベル物理学賞を受賞された名古屋大学の天野浩教授の若者へのメッセージです。
自分は将来このようになりたいか、自分をさらに成長させるために、夢を持つことが大切です。とも天野先生は、おっしゃっていました。

小学生・中学生のみならず、学校で勉強する時間が一番長いと思います。どうせやらなくてはならないなら、この場で覚えてしまおう！と、真剣に一生懸命取り組ましましょう。
そうすれば、できることも増えて、勉強もつまらないものではないと思えてきます。そして、その「できる」ことが夢の実現に近づいていくようになります。

両手を机の上に置き、正しい姿勢をよむば、
計算を間違わない！

「高校受験まで」にできる40の「1」中谷彰浩著より
せっかく、難しい連立方程式の問題の式を立てることが出来たのに、計算で間違えてしまった。こんなケアレスミスはよくあることです。

塾の学習では、笑って済ませることが出来ますが、学校のテスト、入試でこんな愚かな間違いをしたら、悔やんでも悔やみきれません。

ケアレスミスではありません！ 重大なミスです。
では、そうしないために、どうすればいいか！
それを今からお話しします。

中学に上がるにあたって、小学6年生のみなさんへ

小学6年生のみなさんは、いよいよこの春から中学生になります。中学では、勉強が今の何倍も難しくなります。

特に算数は、数学に変わり、小学校での学習の、さらに高度なことを学習します。学校では、その準備として、まとめのテストを行い、小学校の学習の復習を行っていることと思います。

塾では、特に中学で重要になってくる単元を重点的に復習していきます。とにかく、わからないことをそのままにしないようにしなければなりません。

最低限度、小数・分数の計算は、確実に出来るようになさなければなりません。

このような練習をして習熟できる計算問題などの練習は、ご家庭で保護者の方にやっていただきたいと思ひます。

家庭学習の習慣があるかないかが、中学での勉強のカギになります。小学校では、授業さえしっかり聞いていれば、テストで高得点を取れますが、中学では、家での復習なくして、テストで思うような点数を取ることはできません。

中学での学習法については、別の機会に詳しくご説明するつもりです。6年生以外の小学生のみなさんも、今の学習が中学へ続き、高校入試にもつながっていることを理解していただきたいと思ひます。

ですから、算数以外の学校のテストもしっかりとやり直しをしてください。問題を繰り返し解くという学習法が、中学での勉強では大切になります。「できなかった問題をできるようにする」このような学習姿勢を小学校のうちから身に付けましょう。

小学校での学習はすべて、中学につながり、そして高校入試につながります。

今月の予定

- 1月 4日(金)・5日(土) 中3 冬期講習
- 6日(日) 第4回岐阜新聞学カテスト(中3生)
- 7日(月) 通常授業開始
- 12日(土)・19日(土)・26日(土) 入試対策講座(中3生)
- 14日(月) 成人の日 授業を行います

中学3年生は今月、実力テスト、岐阜新聞学カテスト、学年末テストとテストの連続で気が許せません。体には十分に気をつけてください。健康も実力のうちです。

公立高校の一般入試では、問題数が多くなり、幅広い分野から満遍なく出題されます。特に理科・社会は、丁寧に復習し、覚えきれていなかったことは、しっかり覚えるようにして下さい。

中学1年・2年生は冬休みあけに課題テスト・実力テストがあります。学年末テストは2月中旬です。気を許すことなく、今できることをしっかりやってください。



計算間違いをする人とそうでない人の差は、左手(左で書く)は右手(右で書く)の位置にあります。計算間違いをする人は、書く手でない方の手が机の下にあります。
計算式を書いていると、片方から数字をのぞき込む形になってしまい、姿勢が崩れてしまいます。
こうなると、姿勢が斜めになってしまい、計算式の縦横がズレてきます。

計算は、縦横がきちりそろっていれば、そんなに難しいことはないし、ケアレスミスも起きません。ところが、斜めから見ると、ケタが微妙にズレてきて間違えてしまいます。

計算間違いをしない人は、書く手でない方の手もちゃんと机の上にあります。そうすると、自分の今書いているところが目の前に来るので、間違いが少なくなります。これは計算以外にも応用できます。

国語も英語も、目の前にあるものに集中できます。姿勢が悪いのは、見ていてだらしないだけではないのです。
今、自分が集中したいところを両手で挟む形になっていると、考える時、気が散らないし、よく覚えられます。斜めに見てしまつて、理解も記憶もできなくて、計算ミスもします。

テスト用紙を見て、「わあ、問題がたくさなある」と感じるのは、顔が近づいているからです。
両手を机の上に置くと、顔が離れます。

同じテスト用紙が小さく感じられて、「この時間内にこれだけやわねばいいんだ」という全体が見えてきます。
テスト用紙を上から眺めることで、字もつまくなります。

その上、落ち着けるといふメリットがあります。